

発行日:2022.12.6
 発行:稚内市教育研究所
 〒097-0012
 稚内市富岡1丁目1番2号 稚内市生涯学習総合支援センター(風へのわっかない内)
 TEL・FAX:0162-73-6386
 E-mail:wak-kenkyujo@abelia.ocn.ne.jp

令和4年度 第2回学校図書館活用交流会



表教育長

中央小学校図書館



11月1日(火)、稚内市立稚内中央小学校図書館・理科室において、令和4年度第2回学校図書館活用交流会が行われました。4名の協力員さんと図書担当教諭1名、近藤市立図書館館長、船木教育研究所所長、市立図書館職員4名、研究所職員2名の13名の参加がありました。

始めに、主催者を代表して表教育長より、参加者への賛辞につき、「現在、どんなにインターネットが発達しても、自分で様々な方法で主体的に調べること、特に情報の信頼性が高い書籍・図書館の活用は大事だと思っています。稚内市は現在、図書館で『図書館まつり』の取組を行っておりますが、過日参加した研修会で、子どもが読書週間に絵本と関連する学校給食メニューを考えたという例が紹介され、興味深く聴きました。子ども、大人の読書離れが進んでいます。市立図書館や学校図書館を活用し、本の楽しさを知ってほしいと思います。皆さんには、引き続き、子ども達の本への興味を高める取組をお願いします。」などと挨拶がありました。

その後、稚内中央小学校図書館を見学しました。明るい雰囲気の中、参加者から、沢山の感想があげられました。

次に、稚内市立図書館 白坂主査より、本の修理の実習講習が行われました。

講習(本の修理)

- 修理のための基本的な考え方と技術は、
 - ・強引な修理はしない。
 - ・利用頻度、重要性、壊れ具合を考える。
 - ・利用に耐えうる最小の修理をする。
 - ・頑固にするのではなく柔らかく仕上げる
 - ・IFLA(国際図書館連盟)・・・原型尊重・可逆性・安全な素材など。

○保存年限から修理の方法を決める

★和紙とでんぷん糊を使った補修方法を学びました。
 ボンドの場合は接着力が強く、乾くのが早いので塗ってしまうと取り除けません。でんぷん糊だと接着力が弱くて乾くのが遅いため、水を含ませると取り除けるという利点があるそうです。
 和紙を使っての補修は、初めての方がほとんどでしたが、白坂主査の説明を真剣に聞き、補修道具を使い、楽しみながら作業を行いました。和紙を使った補修は、破れ目がわからないような綺麗な出来上がりになったため参加者は大変感動していました。

その他、ページのはずれ、のどのゆるみ、綴じ系のゆるみ補修など修理の仕方を学びました。



稚内市立図書館 白坂 孝主査



参加者の感想を一部抜粋して紹介します!!

- ★中央小の図書スペースがきれいで、書架もそれ程傷んでなく気持ちのいい空間でした。本の修理の仕方、修理する基準等を教わる事が出来て、とても勉強になりました。
- ★明るい雰囲気の図書室で、本の配置や人気本の紹介など、とても見やすくわかりやすかったです。POPや飾りも素敵で参考にさせていただきたいと思いました。本の修理の講習とてもわかりやすく、和紙や水のりでの修理も取り入れていきたいなと思いました。今まで、どの位の破れて廃棄したらいいのかわからなかったのですが、今回の講習に参加させていただき、その本は時間をかけてまで直す必要があるのかの判断基準も教えていただき、直して使う大切さと捨てる勇気も必要なことも知り、参加してよかったです。
- ★本の修理は大変参考になりました。ブックコートフィルムの貼り方等は動画を見ての独学で、数をこなして出来るようになりましたが、和紙に糊をつけての修理となると不安がありました。永久保存するような大事な本や資料をプロの方がやっているのをテレビで見たことがあったので、自分で出来るとは思っていませんでした。テープを貼っても次々にページが抜け落ちてくる本があって途方に暮れたものもありましたが、対処法を教えてもらえたので良かったです。いつもながら白坂さんのお話はゆっくり丁寧で、ちょっと楽しくていいですね。本に対しても扱いの優しさが伝わります。私も気をつけなければ…。有難うございました。
- ★毎回ですが、他校の図書室を見学できて自分では気がつかないことや発想できないことなどたくさんあり、とてもためになりますし、勉強になります。今回の図書修理の講習会も初めて知ることなどが多かったので、ぜひ定期的に図書館の方に教わりたいたいと思いました。

第4回 幌小英語 de トライ

10月28日(金)、幌延町立幌延小学校を会場に幌延町教育研究会、宗谷管内教育連携会議英語部会の共催で、「第4回 幌小英語 de トライ」研修講座が行われました。稚内市教育研究所は、メリー先生、ミエラニ先生、ライアン先生が参加しました。

午前中は、5年生児童20名の「英語 de トライ」の授業が体育館で行われました。参加者の自己紹介をした後、5年生とALT、管内担当教諭で、ドッジボールをして体を動かしてみんなで汗を流して、楽しい交流が行われました。

その後、5年生児童がグループに分かれて、お店を作り、食べ物を販売しました。参加者も2人のペアになりお客になりました。児童はお店の人になって、英語でお店まで道案内をしました。「好きなものは何か?」などの質問を英語でお客に聞いて、コミュニケーションを取りました。お客の「値段はいくら?」の問いに児童は英語で伝えました。児童は初め、緊張気味でしたが、ALTや担当教諭の声かけにだんだん慣れて、スムーズに会話を楽しんでいました。

午後から、6年生19名の授業研修講座が行われました。参加者の自己紹介をした後、ドッジボールとドッジフリスビーで、体を動かして汗をながして、笑顔で交流が行われました。その後、6年生児童がグループに分かれてお店を作り、参加者は2人のペアでお客になりました。お店の児童は、食べ物を英語でお客に売りました。お客は値引きを交渉します。お店の児童は頭をかかえて、身振り手振りでこたえていました。笑い声が絶えませんでした。

参加した管内のALT同士が、初めて顔を合わせて楽しく会話し、連絡先を交換しました。

最後は、閉会式を行い、参加者全員で記念写真を撮り、無事に終了しました。

